

目標達成計画

作成日: 令和 7年 3月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	利用者本人が理念である”普通の生活”を継続できるよう、聞き取った本人と家族の思いを計画書の欄にも記載することが望まれる。	本人と家族の思いや意向を反映した計画書の作成をする。	家族より細かい意向の確認をし、自分で意思の表現が出来ない方は表情などを観察し、本人の意向を汲み取れた計画書の作成を行う。	6ヶ月
2	33	新人職員や経験の浅い職員の不安軽減や看取り支援の知識習得のため、看取りに関する研修や、看取り後の振り返りの機会を持つことに期待したい。	職員が不安を抱えることなく、看取りやケアができるようになる。	看取りに関する研修を行い、知識の習得を目指す。また、わからない時や不安がある時は随時相談できる環境をつくる。	3ヶ月
3	35	職員だけの誘導には限界があるため、消防団を含めた地域の協力を得る取組が待たれる。	まずは消防団との協力体制がとれるようにする。	消防団に協力要請をし、毎月実施している自主避難訓練に年数回でも参加してもらえるようになる。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月